

# 梱包用LVLの実績伸長

## チリ材軸に資材提案の幅広がる

瀬崎林業

瀬崎林業（大阪市、瀬崎民裕社長）の中  
国産ポプラLVL事業が順調だ。梱包用L  
VLは年間30コンテナが安定して入荷して  
おり、東日本を中心とした取引先の拡大も  
続いている。また、西日本でも、じわじわ  
と販路が広がってきた。

梱包材市場では、LVLの使用が増加傾向  
で、特にコストメリツトが顧客ニーズをつか  
むフックになってい  
る。また、中国からの  
輸入であるため、短納  
期で供給できること  
が、資材調達安定性  
を重視する梱包メーカ  
ーに受け入れられてい

の輸出でも中国とのつ  
ながりを構築してお  
り、現地の取引工場を  
定期的に視察して品質  
の向上に努めている。  
ポプラ植林木は約8  
年で伐期を迎えるた  
め、原料供給からLVL  
生産までのサイクル  
は安定している。

主力の梱包用チリ産  
材販売は、梱包市場が  
苦戦するなかでも堅調  
に推移している。東日  
本から西日本までの広  
範囲で、販路が拡大し  
ている。  
梱包市場では杉のシ

エアが高まってきたこ  
とから、杉製材品の充  
実にも着手している。  
杉は今後も需要が伸び  
ると予測され、供給体  
制を強化している。  
同社では得意とする  
チリ産材販売を基軸と  
しながら顧客ニーズへ  
の柔軟な対応に努め、  
LVLや杉など間材の  
多様化を進めている。